

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	03.岩手県
市区町村名	03501軽米町
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
035017_軽米町	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	高齢化等により、スクールガードや放課後子ども教室安全管理員の担い手が年々減少している。令和6年度は、スクールガードが4人、安全管理員が2人減となっており、今後の活動の停滞が危惧される。	・町広報誌やかるまいテレビを活用し、地域全体への周知を行うほか、地域コーディネーターやボランティアのネットワークを活用し、呼び掛けを行うことで新たな人材を発掘する。 ・町内の小学校3校、認定こども園及び保育園3園の保護者を対象に、年に一度ボランティアの募集チラシを配布した。	・広報誌やかるまいテレビなどを活用した募集を3カ月に一度（年4回）、定期的に行うことで地域全体への周知を図る。また、地域コーディネーターやボランティアのネットワークを活用し、呼び掛けを行うことで新たな人材を発掘する。 ・子育て世代など幅広い世代に参加してもらえるよう、町内の小学校3校、認定こども園及び保育園3園の保護者を対象に、年に一度ボランティアの募集チラシを配布するほか、施設へのポスター掲示を行う。	子供たちの安全安心な登下校や、放課後の居場所を継続して提供するために、新規ボランティアを確保し、学校支援ボランティアの人数を維持する。	学校支援ボランティア（スクールガード及び放課後子ども教室安全管理員）の人数	36	人	40	35	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる ・学校支援ボランティアの協力により、子供たちの安全安心な登下校や、放課後の居場所を継続して提供することができた。 ・新規ボランティアについては、放課後子供教室安全管理員3名を確保することができた。しかし、子供教室安全管理員4名が退任となり、本年度の目標値には達しなかった。 ・新規ボランティアについては、1名が広報誌を見て応募、他2名は職員やコーディネーターの呼び掛けによるものであった。年間を通じた募集活動による効果も表れていると思われるが、来年度においても継続した募集活動を実施するほか、職員やコーディネーターによる呼び掛けも継続して実施することで、新規ボランティアの確保に繋げたい。

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。